

開催日：平成30年11月8日(木) 午後7時から  
 会場：菩提寺まちづくりセンター  
 参加者数：57名

	ご意見・ご質問	市からの回答
1	<p>新庁舎の計画は非常に良いと思う。            初めてこのような説明会に参加したが、聴覚障がい者にとって問題はないと感じている。            電光掲示板があればありがたい。            湖南省では、毎日一人は聴覚障がい者が来庁している。湖南省役所は行き易く、温かい雰囲気があるので、新庁舎も温かい市役所になることを希望する。            施設がばらばらにあると不便なので、一つにまとめてほしい。</p>	<p>電光掲示板につきましてはできるだけ検討します。            温かい市役所というのは職員の心持の部分もあると思います。今後も続けていきたいと思います。</p>
2	<p>旧耐震基準と、新耐震基準の違いはなにか。            老朽化している建物が新しい建物にするのは当然のことと理解できるが、現庁舎は40年前の建物で、旧耐震基準で庁舎は建てられており、耐用年数は60年で、長期的に考えると、耐震改修して、増築でもよいのではないか。            滋賀県内の公共施設では、新しい耐震基準に合わせて耐震改修・増築しているところが多いと思うが、湖南省では簡単に建替えにしている感じがするので、矛盾を感じている。庁舎建設を考える会のアンケート調査では、建替えを知らない人が32%、反対の人が92%いた。個人的には増築で十分ではないかと考えている。</p>	<p>40年前に建てられたときは人口が2万6千人でした。今は5万5千人です。当時と比べると、福祉業務については細分化されまして、手厚く対応するため福祉部門の職員が増えていますので、現庁舎の建物の面積が大変狭い状況となっています。熊本地震では、耐震改修を行っていた益城町でも庁舎が使えなくなったというケースもありますので、耐震補強がどこまで有効であるかは疑問を持っています。耐用年数以上使用しても施設は老朽化していますので、修繕費等の費用が負担となってきます。耐震改修しましても、別途、バリアフリー工事等が必要になります。また、耐震補強では、執務スペースや廊下などに耐震壁や鉄骨ブレースが必要となり、使いづらい庁舎になってしまいます。            耐震補強で乗り切れないかということは、これまで検討してまいりましたが、お金をかけて使いにくい庁舎とし、将来、再度建替えの負担を次の世代に掛けるのか、あるいは、お金は掛かりますが、将来世代と負担を分かち合いながら建替えるのかということ。また、あちこちに分散している行政機能を、耐震補強を行った使いづらい庁舎に集約し、市民の皆様にご迷惑を掛けるわけにはいきませんので、建替案で基本設計を進めさせていただいております。</p>

開催日：平成30年11月8日(木) 午後7時から  
 会場：菩提寺まちづくりセンター  
 参加者数：57名

	ご意見・ご質問	市からの回答
3	<p>すでに出来上がったような話だが、災害に強い庁舎は当たり前だが、64億も使って建替えありきで進めるのは問題だと思う。人口減少が進む中で、財政的に本当に大丈夫なのかということ、また、将来の負担が税金として回ってこないかということ、昨年のタウンミーティングの時に質問した。当時、建替えありきで進んでいないと言っていたが、その通り進んでいる。市民に、建替案と耐震補強案の検討をもっと市民に説明する必要がある。</p> <p>将来世代と負担を分かち合うということは、次の世代に負担を回すわけなので、災害に耐えられる庁舎であれば、耐震補強工事でよいと思う。議会では、耐震補強なら3億でできるという議論が行われている。奈良市は築40年で耐震補強を行い、長寿命を図る予定とされている。栗東市にある機動隊や、大津裁判所など耐震補強している。奈良の市役所にできてなぜ湖南市にできないのか。</p>	<p>耐震改修を行うよりも、改築を行った方が、将来的な負担が小さくなると考えています。3億円で耐震補強ができるということですが、その根拠は検討される必要があると考えています。耐震補強案と建替案については、今後、「広報こなん」などで市民のみなさんにお知らせさせていただきます。将来の子供や孫に負担が残るということは、耐震補強案についても同じことであると考えています。耐震改修を行い、増築すれば、その時は事業費を抑えることができますが、老朽化した庁舎の建替えを将来に先延ばしにするということであり、全体のライフサイクルコストを考えたときに、総費用が安くなる方を選択することが合理的と考えております。長寿命化につきましても、長寿命化を図るためにはそれなりの改修工事費が必要となります。耐震改修でできないかを検討してまいりましたが、現在は建替えざるを得ないと考えています。</p>

開催日：平成30年11月8日(木) 午後7時から

会場：菩提寺まちづくりセンター

参加者数：57名

	ご意見・ご質問	市からの回答
4	<p>震度6で崩壊するといわれるが、新耐震基準で建てられている保健センターを借地であることを理由に取り壊そうとしている。こども園など11か所あるが、そのうち7施設は耐震化ができていない。早急に対策をとる必要があるのではないか。</p>	<p>保健センターにつきましては、現在借地となっており、借地を解消しなければ、今後も借地料を負担し続けることになり、次の世代にも負担が掛かり続けますので、集約化を図り、借地を解消したいと考えています。</p> <p>こども園につきましては、民営化を進めておりますが、これは、社会保障の体系が、年金・医療・介護の3本柱でありましたが、国は、これに子ども子育てを加えて4本柱にされました。子ども子育て支援新制度というもので、公立園については、国からの厚い手当てがまったく無くなってしまい、民間園であれば、国から、かなりの支援が入ることとなりました。これにより、民間園で建替えをしてもらう方がかなり有利であると考えており、さらに、待機児童への対応も、公立園より、民間園の方が柔軟性が高く対応していただけたと考えています。こうしたことから、保育園などの耐震化につきましては、民営化と並行して対応していくこととしており、庁舎とは、別の問題であることをご理解いただきと思います。庁舎とは別のところで検討する課題であると認識しております。</p>
5	<p>庁舎を新しく建替えることは賛成である。お金が掛かっても、命には代えられない。</p> <p>計画に避難経路のことが、考えられていない。避難してくださいと案内されても、聴覚障がい者には聞こえないので、例えば、避難経路が分かるよう、床に点滅する矢印を設けるなど、避難の経路が分かるような工夫を検討できないか。</p>	<p>電光掲示板と合わせて対応できないか検討します。配慮させていただきます。</p>

開催日：平成30年11月8日(木) 午後7時から  
 会場：菩提寺まちづくりセンター  
 参加者数：57名

	ご意見・ご質問	市からの回答
6	<p>行政サービスや安全性の向上としてはやむを得ないと考えている。ただし、財政について心配している。現在、約280億の累積債務があります。自転車操業でなんとか行けているように感じる。借金は返さなければならない。公債費の割合を教えてください。</p> <p>市役所であっても、経営感覚を持ってほしい。泉佐野市が、ふるさと納税で150億ほど収入があり、約90億が納税として入っている。3年で270億円になる。湖南市も経営を考えてほしい。</p>	<p>公債費につきましては、全体の借入残高のうち、1/3以上を臨時財政対策債が占めています。これは、本来は国が負担すべき交付税を市が立て替えているもので、後年に国が100%返すものです。市の借金になっておりますが、国の借金の付け替えです。合併特例債関連の公債費につきましては、合併特例債事業はほぼ終わっておりますので、今後減ってまいります。事業債に係る公債費につきましては、建物や橋などの工事に借りているものですが、現役の世代だけでなく、次の世代にも負担をいただきながら整備するものでもあります。実質公債費比率につきましては14.2%でしたが、現在は9.7%まで改善してきています。合併から小学校などの耐震改修を行ってまいりましたが、これらの返済を行ってきております。国の規制がかかるのが25%以上になりますので、以前から低い状態で借り入れの負担を続けています。</p> <p>経営をしてほしいとのご意見ですが、ふるさと納税につきましては、ルール外のことをしますと公平性の担保から、今年度から国が厳しく指導されますので、同じ方法はできません。税金を増やししながら返済を行っていくことは必要だと考えています。まだ、市内にも開発が可能などところもありますので、民間企業とのマッチングも視野に入れながら、できるだけ税金が上がるような方法を模索しています。</p>

開催日：平成30年11月8日(木) 午後7時から  
 会場：菩提寺まちづくりセンター  
 参加者数：57名

	ご意見・ご質問	市からの回答
7	<p>複合化は、一極集中になるので、十分なサービスが提供できるとは考えられない。耐震基準を満たしていない公共施設はたくさんある。今後の人口減少を見込むのであれば、少しずつ施設を減らしながらリフォームしていくことが大事。起債については健全でないように感じる。国は助けてくれない。国は東京一極集中でやっている。</p> <p>今ある公共施設を活用してサービスをすべての人が受けられるようにしてほしい。</p> <p>保育園や幼稚園は別の問題と言われたが、非常に劣悪な環境で仕事をされており、職員も子どもも困っている。小学校にしても空調が50%しか整備されていない。国の施策に乗ってゆっくり進めるのではなく、借金をしても良いのでそちらを先に進めてほしい。</p>	<p>起債は、法律で使用目的を決められています。庁舎の建替えの起債や、学校の建築の起債であったり、消防庁舎にはまた別の起債があり、全て制度が決められています。日常の生活費にあたる部分と、次の世代と分かち合いながら、整備する必要があるインフラ整備につきましては、分けて考える必要があると考えています。国の制度にすべて便乗するわけではなく、その都度精査させていただき、学校や、道路、橋の整備など、その時の国の有利な制度を選んで採用させてもらっています。庁舎の整備事業のみで負担が生じるのではなく、いろいろな事業を含めて、財政全体で検討しています。</p>
8	<p>効率化を図って、全体コストを下げると言われたが、市長や職員はどうされるのか。過去に、合併特例債で住居表示をされると言われたが、実際は使われていない。</p>	<p>合併特例債の用途につきましては、その用途が決まっていたものと、決まっていなかったものがあります。合併特例債は、かなり有利な起債であり、例えば、この菩提寺まちづくりセンターを建てるのに、国の支援が30%しかないものを利用するのか、70%支援してもらえる合併特例債を使うのかということでは、もともと建てる予定であるのであれば、合併特例債を活用する方が有利であったということです。全体を見ながら、一番お金のかからない方法を選択しながらいろいろな事業を進めております。</p> <p>職員がどう変わるのかということですが、庁舎の設計に際し、仕事の仕方を変えるよう指示しています。書類主義でもってしまうのではなく、市民の皆様のほうを見ながら、必要なことを適切に判断していく、ICTを活用しながらコストのかからないスリムな体質の市役所に変えていきたいと思っています。</p>

開催日：平成30年11月8日(木) 午後7時から

会場：菩提寺まちづくりセンター

参加者数：57名

	ご意見・ご質問	市からの回答
9	<p>西日による熱負荷の話があったが、環境配慮は良いことだが、夏場を考えたイメージだと思われる。市民交流スペースは、北側なので冬は寒いのではないか。</p> <p>南側は、一段高い舗装面からの照り返しが熱いのではないか。</p>	<p>1階の市民交流スペースが寒いのではないかということは検討させていただいております。市民交流スペースは床下空調を採用し、暖かくして快適に利用できるようにしていきます。また、窓ガラスも2重のものを採用するなど、市民交流スペースの快適性を計画をしております。</p> <p>空調計画につきましては、近年のオフィスは、パソコン、プリンターなどの機器が多くなってきており、その発生する熱量が多くなりますので、冷房期間が長くなってしまいます。執務室での発生する熱量が多く、消費エネルギーは夏場を中心にエネルギー消費がピークになってきますので、そういったところを中心にエネルギーの効率化を図っています。</p> <p>新庁舎南側の照り返しにつきましては、南側に緑地を配置する計画をしております。緑地を配置することにより熱負荷の低減が図れると考えています。</p>

開催日：平成30年11月8日(木) 午後7時から

会場：菩提寺まちづくりセンター

参加者数：57名

	ご意見・ご質問	市からの回答
10	<p>一次エネルギーを50%削減する計画ですが、本当に検討されたのか。冬場を考えると、北側は壁を設けて、しっかり断熱材を入れたうえで、1階の温かい南側に市民交流スペースを設けて、執務室と配置を入れ替えたほうが良いのではないかと。</p>	<p>一次エネルギーの50%削減につきましては、一般的な建物の一次エネルギーの指標がありますので、そちらと比べて庁舎がどのくらい一次エネルギーを削減できるかを確認します。断熱材を厚くしたり、ガラスの性能をよくしたり、空調機の性能をよくするなどの対策をバランスよく行いながら、国が定める基準に基づく計算を行い、概ね50%削減できるように計画しています。</p> <p>現在の庁舎を残しながら建替えを行いますので、建築する敷地に制限があります。また、北側にある森北公園や広場との市民交流スペースのつながりも考慮しながら検討した結果、北側に市民交流スペースを配置しております。</p>
11	<p>西庁舎は機能が少しずつ減っている。もったいないので、聴覚者障がい者協会として使用させてほしい。</p> <p>また、新庁舎には、市民が交流ができるカフェがあればよいのではないかと。</p>	<p>西庁舎につきましては、一時期、会議室を市民が利用できるように開放しましたが、あまり使用されませんでした。西庁舎の周辺施設の在り方は、今年度から検討させていただきます。施設の利用につきましては、全体で検討していきたいと考えています。</p> <p>カフェにつきましては計画にありませんが、市民がくつろいでいただけるスペースは計画しております。具体的な運用はこれからですが、自動販売機などを設置していくことになると思います。当初はコンビニの計画がありましたが、庁舎の周りに大きな店舗もありますし、また、すぐ近くにコンビニもあり、庁舎の中に店舗を設けるのは厳しいといったお話を伺っておりますので、コンビニの計画は外しております。</p>

開催日：平成30年11月8日(木) 午後7時から  
 会場：菩提寺まちづくりセンター  
 参加者数：57名

	ご意見・ご質問	市からの回答
12	<p>起債について、交付税措置があるとの説明だが、起債に対して交付税はどのくらいあるのか。また、耐用年数が60年と言われるがあと20年使用できる。職員通用口階段に亀裂が入っているとのことだが、実際に見ると深い亀裂ではない。</p> <p>石部駅の跨線橋の階段が大変危険である。一番最初に手を付ける必要があるのではないか。庁舎整備の借金は身の丈に合わない借金ではないか。子どもの医療費の無料化を行っていないのは湖南市、野洲市、守山市、栗東市、長浜市である。いつ無料化をしてくれるのか。</p>	<p>三雲の説明会でも出席いただき、1時間30分以上議論させていただきましたが、その時と同じような質問をいただいたと感じています。市町村役場機能緊急保全事業債につきましては、起債対象経費の75%を上限としてその範囲で充当した事業債の元利償還金の3割が交付税措置となります。また、集約化・複合化事業債につきましては、元利償還金の5割が交付税措置となります。まだ20年使用できるとのことですが、先ほどからの説明におきまして、市としましては、建替えたほうが良いと考えていることを説明いたしました。亀裂につきましてはどの亀裂をご指摘いただいているかわかりません。石部駅につきましては、昨日も石部駅で降りて帰ってきました。石部駅の現状は十分わかっております。一昨日はJR京都支社長に石部駅で降りていただき、状況も見えていただいております。今後バリアフリー化を進めてまいります。長期財政計画の中にも、石部駅のバリアフリー化事業を含めて計画しております。何度も出席いただいておりますので、何度もお聞きいただいていると思います。身の丈に合わない借金とのことですが、事業費の規模で言いますと、学校の耐震化事業二つ分に少し足したぐらいの規模と考えており、石部小学校と甲西中学校をほぼ同時期に建替えましたが、財政はきちんと回らせていただいております。実質公債費比率を見ましても、まだまだ健全であることはご理解いただけたと思います。災害の時にバックアップする災害対策本部、それを支える職員が潰れてしまえば、市民を支えることができないこととなります。さらに、来庁される市民の方の命を守る必要もありますので、今回、基本設計案をまとめさせていただいております。エネルギー効率のご意見や、聴覚障がいの方に対するサインのご意見など、そういったご意見をいただけたらと思って説明会を7回開催し、ご意見を伺ってまいりました。同じグループの方が毎回同じ質問をいただいておりますが、同じ答えをさせていただくことしかできません。</p>



開催日：平成30年11月8日(木) 午後7時から

会場：菩提寺まちづくりセンター

参加者数：57名

	ご意見・ご質問	市からの回答
13	<p>湖南省全体の現在ある素晴らしい公共施設を大切にしてほしい。60億円、70億円も借金をして新しいものを作れば将来に禍根を残すことになる。若い人が集まってくるような、住民が増える施策を行ってほしい。</p> <p>すぐに行ってほしいのが、菩提寺こども園南園舎のセメントの落下対策をしてほしい。</p>	<p>こども園などにつきましては、民営化で対応する計画とされています。</p>
14	<p>建替えは賛成である。災害時の公助の要である庁舎は必要と考えている。</p> <p>男性用トイレにカバンを置ける広い棚を作っていただきたい。</p>	<p>設計に反映できるところはさせていただきます。</p>